

横須賀市中小企業景況レポート

第3号（平成25年7月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫が従来から行う、景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団（以下「財団」と表記）がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：182社（うち三浦藤沢信用金庫+湘南信用金庫 調査167社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成25年1～3月の景況感（調査時点 平成25年3月1日）
今期・・・平成25年4～6月の景況感（調査時点 平成25年6月1日）
次期・・・平成25年7～9月の景況感（ ” ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

全業種の景況感は、前期の△12Pから5Pとなり、17Pの大幅な改善となりました。

業種別では、卸・小売業の36Pを筆頭に、不動産業が16P、サービス業が15P、製造業が10P改善しました。

建設業は「良い」「悪い」共に増え、前期と同じ9Pを維持しました。

次期に向けては、不動産業が18P、製造業が7P良くなるとみていますが、その他の業種は、今期よりは少し悪くなると予測されています。

項目別で見ても、全項目とも大幅に改善されました。

売上額については次期も改善されるという予測ですが、他の項目の次期は△1～△6Pと少し悪くなる予測となっています。また昨年同期との比較においても、売上額が増加したと回答した企業数の割合が大きく増えています。

全業種のほぼ全項目で改善されていますが、不動産業の今期の資金繰りのみが8P悪化しました。

次期の予測も良いとの項目が見られますが、中でも不動産業の売上額は57Pの大幅な改善が期待されています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

- | | | | |
|-------------------|---|--------------|---|
| ○良い：15P以上 | ↑ | ○やや良い：6P～14P | ↗ |
| ○変わらない（普通）：△5P～5P | → | | |
| ○やや悪い：△6P～△14 | ↘ | ○悪い：△15P以下 | ↓ |

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

(1) 製造業 4 <やや良い> ↗

景況感は前期より「良い」という声が増え、DI 値は10P改善しました。

特に資金繰りは2Pとなり、25Pの大きな改善がみられました。雇用人員も適正と感じる割合が多い結果となりました。

☆事業者の主な声☆

- ・底を抜けた感があり、回復傾向。夏場に向け更に上がっていくと考えている。
- ・大口の仕事は落ち着き始めたが、その分新規の受注が増えている。
- ・現在取り組んでいる新規事業の見通しが立てば、1～2名増員する可能性がある。
- ・発注元が積極的な設備投資に打って出ているため、受注は好調を維持している。
- ・久しぶりの売上高を記録した。今後も受発注商談会等へ参加し、新たな販路拡大に向けて、継続した営業努力を行っていく。
- ・市内からの受注は相変わらずほとんどない。
- ・政権交代の影響は、中小零細企業にとっては全く感じられない。

(2) 建設業 9 <やや良い> ↗

景況感は前期より「良い」が増加しましたが、「悪い」も増加し、DI 値は前期と同じでした。しかし、雇用人員や資金繰りは大幅に改善が見られました。

☆事業者の主な声☆

- ・公共工事受注が堅調であり、業績は良好。春先に増員したが、まだ人手不足気味のため、増員を検討中。
- ・左官業を主業種としてきたが、軸足をビルの外壁修繕業務へ移し、営業活動により取り引きを拡大してきたため、業況は堅調である。
- ・消費税増税を見込んだ需要を取り込むことに成功し、売上げ・利益ともに安定している。
- ・地元での工事受注で、売上増加に努めている。
- ・前回調査（3月時点）より横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町地区は一段と悪くなっている。
- ・人手不足、外注工事依頼などで、工事数ほどの利益は出せていない。
- ・売上げは増えている一方で、先行支払いにより資金繰りは厳しい状況にある。

(3) 卸・小売業 7 <やや良い>



全ての項目で大幅に改善しました。

景況感は前期の△29より36P上昇し、5業種の中で最も改善が見られました。

☆事業者の主な声☆

- ・大手スーパーに卸していることが強みであり、新規出店に伴い売上げも増加している。
- ・既存顧客からの受注が回復傾向にある一方で、仕入れ価格が上昇しているため、販路拡大が急務である。
- ・過去の顧客リストを活用したDMによる宣伝が功を奏し、商店街の売り上げ低下による店頭売り上げの伸び悩みをカバーできている。
- ・店頭客の減少により売上げが伸び悩んでいるため、現在は顧客宅への直接配達などきめ細かなサービスを実施している。
- ・個人消費は上向いているようだが、生活必需品に関しては、相変わらず安売り競争に拍車がかかっている感じが強い。
- ・店舗周辺の高齢化が進み、来客頻度が減少している。さらにスーパーの新規参入もあり、売上げが減少している。

(4) 不動産業 0 <変わらない>



景況感は前期より+16Pと大きく改善しました。

次期の予測ではさらに18Pと、大きく改善されることが期待されている状況です。

☆事業者の主な声☆

- ・消費税の引き上げを前に、不動産購入希望者の動きは活発になっている。
- ・新築物件は首都圏を中心に活発に動いているが、南海トラフ及び活断層の情報が、消費者マインド低下に影響を与えている事実は否めない。
- ・人気物件とそうでない物件の二極化がすすんでいる。
- ・都市部では既に地価が値上がりしていて、横須賀も半年程度で上昇すると予想している。

(5) サービス業 0 <変わらない>



全ての項目で大幅に改善しました。

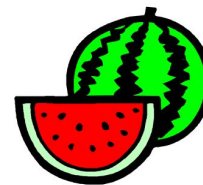
雇用人員については、前回の人手不足感が転じて、人手が多い傾向にあります。

☆事業者の主な声☆

- ・新事業を開始し、徐々に受注が増えてきたことで、売上げが増加した。
- ・米軍関係者の宿泊が例年より長く、また宿泊客数も増えたため、売上げが好調であった。
- ・今年に入り、景気回復の兆しが見られ、常連客の他に、若い客層や家族連れが散見されるようになった。
- ・家族連れの来店数が多く、ランチの売り上げが増加した。
- ・格安理容店に顧客が流れていて、同業者の中では廃業の検討をしているところもある。
- ・原料や燃料の上昇分を販売価格に転嫁できていないため、見直しが必要不可欠である。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成25年1～3月の景況感（調査時点 平成25年3月1日）
 今・・・今期 平成25年4～6月の景況感（調査時点 平成25年6月1日）
 次・・・次期 平成25年7～9月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	194	47	33	49	19	46
今期	182	45	32	42	16	47
次期	182	45	32	42	16	47

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	19	30	26	30	40	38	24	31	28	16	36	29	16	25	31	9	15	9
	変わらず	50	45	51	34	24	35	61	47	44	39	35	45	52	50	56	67	70	76
	悪い(B)	31	25	23	36	36	27	15	22	28	45	29	26	32	25	13	24	15	15
	DI値(A)－(B)	△12	5	3	△6	4	11	9	9	0	△29	7	3	△16	0	18	△15	0	△6
	今－前、次－今	17	△2		10	7		0	△9		36	△4		16	18		15	△6	
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	22	29	27	34	38	40	24	28	16	21	33	36	16	19	44	13	19	11
	変わらず	44	45	50	32	24	33	58	56	56	37	41	35	42	43	50	54	62	74
	悪化(B)	34	26	23	34	38	27	18	16	28	42	26	29	42	38	6	33	19	15
	DI値(A)－(B)	△12	3	4	0	0	13	6	12	△12	△21	7	7	△26	△19	38	△20	0	△4
	今－前、次－今	15	1		0	13		6	△24		28	0		7	57		20	△4	
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	16	26	22	32	36	29	12	19	13	13	33	29	21	25	33	4	17	11
	変わらず	52	51	53	34	33	40	73	65	62	41	41	40	53	56	54	66	66	72
	減少(B)	32	23	25	34	31	31	15	16	25	46	26	31	26	19	13	30	17	17
	DI値(A)－(B)	△16	3	△3	△2	5	△2	△3	3	△12	△33	7	△2	△5	6	20	△26	0	△6
	今－前、次－今	19	△6		7	△7		6	△15		40	△9		11	14		26	△6	
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	4	14	12	9	13	9	0	16	16	6	12	12	5	13	6	0	15	15
	適正	72	74	77	59	69	69	58	59	65	79	83	86	90	87	88	80	79	81
	少ない(B)	24	12	11	32	18	22	42	25	19	15	5	2	5	0	6	20	6	4
	DI値(A)－(B)	△20	2	1	△23	△5	△13	△42	△9	△3	△9	7	10	0	13	0	△20	9	11
	今－前、次－今	22	△1		18	△8		33	6		16	3		13	△13		29	2	
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	6	16	13	9	22	20	6	16	6	2	17	19	11	6	6	7	13	9
	さほど苦しくない	68	69	72	59	58	58	73	75	85	63	66	64	73	75	88	73	74	76
	苦しい(B)	26	15	15	32	20	22	21	9	9	35	17	17	16	19	6	20	13	15
	DI値(A)－(B)	△20	1	△2	△23	2	△2	△15	7	△3	△33	0	2	△5	△13	0	△13	0	△6
	今－前、次－今	21	△3		25	△4		22	△10		33	2		△8	13		13	△6	

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 148社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	63社	42.6%	25.5%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	43社	29.1%	29.6%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	42社	28.3%	44.9%
DI値(A)－(B)		14.3 P	△19.4 P

